総合健診システム

健診ヘルパーのご紹介

株式会社SCC
Software Consultant Corporation

1 製品紹介

製品紹介

30年の実績をもとに、使い やすいシステムに進化しました！
これからも受診者様の笑顔のため、予防医学分野と共に成長しつづけます。

健診ヘルパーの導入メリット

受診者サービスの向上へ

- 検査進捗状況を一目で把握できる誘導支援機能を利用し、受診者のスムーズなエスコートを実現。
- 見やすく、きれいな報告書で、受診者満足度の向上に寄与。
- 受診者への丁寧な説明のために、面談用専用画面を用意。

医師の業務を効率よく

- 自動判定機能の充実。計測データの自動判定がよりスピーディに。(当社従来比)
- 読影入力用画面を用意。簡単操作で所見入力のスピードアップを実現。

渉外活動をスピーディーに

- 過去の契約情報をもとに簡単な操作で見積書を作成可能。
- 過去と現在の受診履歴をもとに、コース別・団体別売上や所見別統計などを作成可能。

事務作業を快適に

- 予約可能日検索機能により、予約日別、機材別、時間帯別の予約状況を確認し、空き状況を素早く把握することが可能。
- 他部門システムや計測機器との連携、OCR運用などにより結果入力作業を大幅に軽減。

健診ヘルパーの特徴

充実の機能
- 契約・予約・受付～請求・統計までの一連の機能を標準装備
- 特定健診(XML作成含む)、協会けんぽ健診を標準装備
- 80種類以上の帳票を標準装備
- 日本人間ドック学会に準じた判定基準を標準装備

納得のランニングコスト
- 各種報告書(帳票)は、Microsoft Excelでの提供のため、簡単に追加・変更が可能
- 健診コースやオプションは、マスタ設定により簡単に変更可能
- 端末増設時の追加ライセンス料が不要

安心のサポート
- SEによる操作研修と運用リハーサルを実施
- ハード、ソフトとも保守窓口は弊社で一本化
- お問合せやご相談に、迅速に対応(電話／メール／リモート／訪問)
- 保守センターからリモートメンテナンスを実施

顧客ニーズのフィードバック
- 導入顧客よりフィードバックされた様々なニーズを反映
- 展示会などでいただいた貴重なご意見を吸収
- 特殊健診、ストレスチェックのラインナップ化

簡単な操作
- カレンダー方式を採用した予約管理
- 受診者毎に必要な帳票はセット印刷により省力化
- 利用頻度の高い機能のマイメニュー登録が可能
- 読影入力や受診者面談向けに専用画面を準備

お客様の声

2 健診ヘルパーの特徴

製品紹介

充実の機能

- 契約・予約・受付～請求・統計までの**一連の機能を標準装備**
- **特定健診（XML作成含む）、協会けんぽ健診を標準装備**
- 受診票3種類、結果記入票13種類、報告書10種類など、**80種類以上の帳票を標準装備**
- 日本人間ドック学会に準じた判定基準を標準装備

納得のランニングコスト

- 各種帳票は、**Excel形式での提供**のため簡単に追加・変更が可能
- 健診コースやオプションは、**マスタ設定により簡単に変更可能**
- 端末増設時の**追加ライセンス料が不要**

安心のサポート

- SEによる操作訓練と運用リハーサルを実施
- ハード、ソフトとも、**保守窓口は弊社で一本化**
- お問合せやご相談に、**迅速に対応（電話/メール/リモート/訪問）**
- 保守センターから**リモートメンテナンスを実施**

3 健診ヘルパーの機能

製品紹介

「 健診ヘルパー 」の基本機能

● 一連の健診業務に必要な機能を全て標準装備

(1)契約	(2)予約業務	(3)事前準備業務
(4)受付業務	(5)データ収集業務	(6)報告照会業務
(7)事後管理業務	(8)請求入金業務	(9)統計業務
(10)面接支援	(11)業務進捗管理	(12)マスタ保守

「 健診ヘルパー 」のオプション機能

● パッケージオプション ： 要望に応じてオプション機能を選択

(1)特定保健指導 (2)OCR運用 (3)通過管理

(4)巡回健診 (5)Web健診結果入力照会

● システム連携オプション ： 下記のシステム等との連携が可能

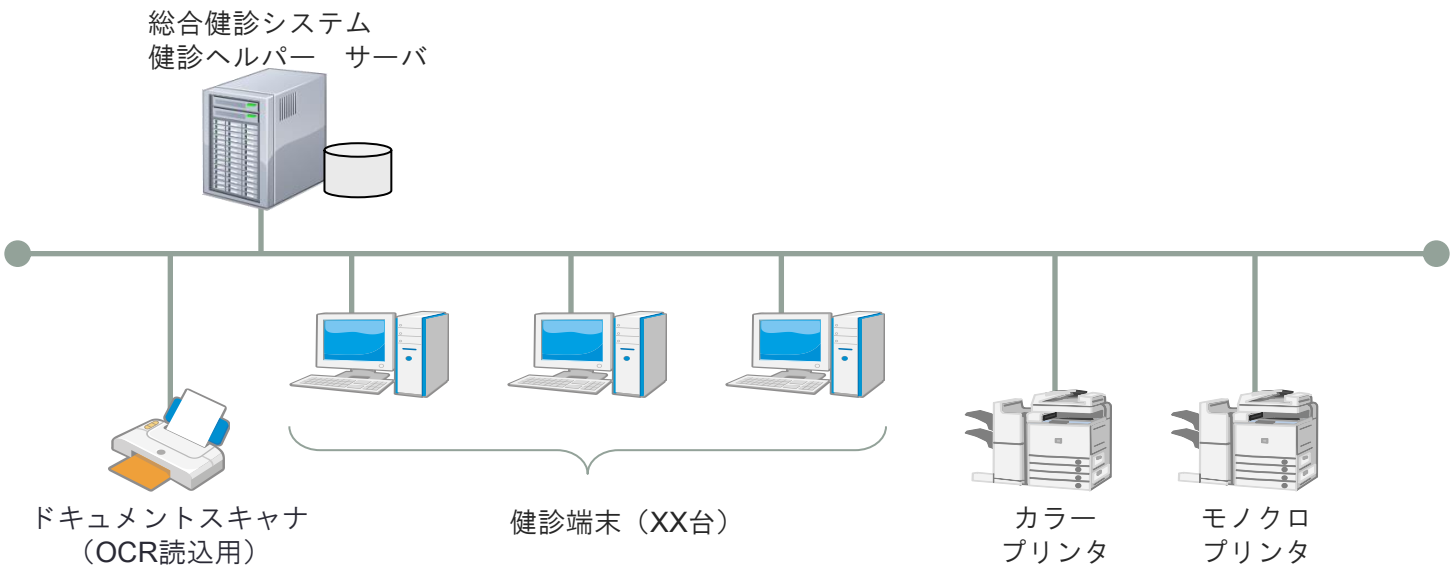
(1)検査システム (2)医事システム (3) オーダリングシステム

(4)電子カルテ (5)画像システム (6) 計測機器インタフェース

● 機能カスタマイズオプション ： お客様特有のカスタマイズ要望にお応えします

4 健診ヘルパーの機器構成

製品紹介



★ **サーバライセンスのため将来的に端末を追加される場合も、ライセンス料は必要ありません**

5 健診ヘルパーの強み

経験

●受託開発で培った経験

１５年以上、１００施設に及ぶ健診システム導入の
経験を活かし、お客様の要望に柔軟に対応します。

安心

●堅実な運用・保守サポート

遠隔保守を利用した手厚いサポートを実施し、
長年、安心して御利用頂けます。
導入施設から、今後も長く使いたいとのお声を頂いています。

提案

●健診業務に役立つ機能

健診ヘルパーの様々な機能で、健診業務の
効率化と利便性向上に貢献します。

6 導入後のフォロー

安心

安心のセキュリティ設計です

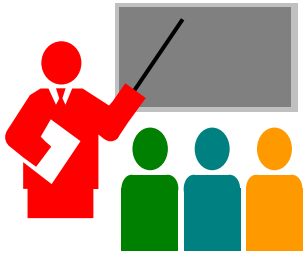
管理者・担当者の権限ごとにメニュー画面を作成可能

⇒システムを「いつ」「誰が」「何を」行ったかログで管理

システム導入時の運用も安心です

システムの機能と運用ノウハウを充分に身につけていただけるよう、弊社SEがお客様を訪問し、操作教育や運用指導を実施。また、本稼動時は運用フォローを実施。

- 運用管理ご担当者さまへの教育
  ① サーバーの起動・停止およびデータバックアップ操作
  ② 自動運転スケジュール設定の方法
  ③ 障害発生時の対処方法　他
- スタッフさまへの教育内容
  ① システムの基本機能(画面操作が中心)の説明
  ② 運用操作や管理マスタなどの設定・変更方法
  ③ 帳票やFD報告の作成方法　他



7 システムの保守

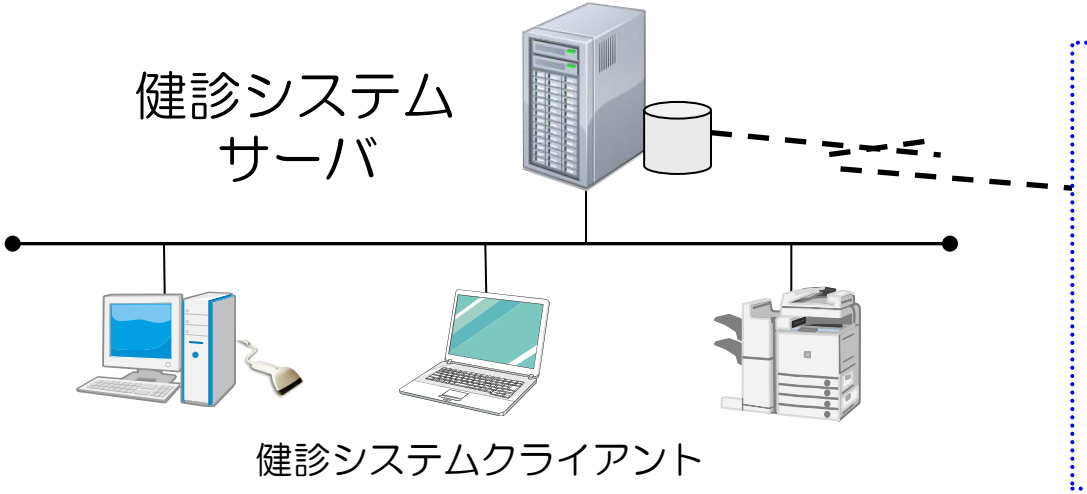
安心

システムの保守はお任せください

業務運用上の問合せに迅速に対応(電話・遠隔保守)
※システム導入後5年以上の保守に対応

システム障害発生時(ハードウェア・ソフトウェア・誤操作等による障害)の対応は、全て弊社が窓口

- 遠隔操作による対応(動作状況確認を含む)、必要に応じて訪問
- ハードウェア障害発生時も弊社からメーカを手配し、復旧まで責任を持って対応



保守端末はＳＣＣ
セキュリティルームに設置
（個人情報保護）

8 健診業務への貢献(1／2)

提案

健診事業拡大

●受診者数増加による業績拡大
機材の一元管理により、効率的な機材の利用を実現
検査時間の短縮により、受診者数増加

●追加ライセンス費用は不要
健診システムの追加ライセンス費用は不要
健診事業拡大に伴う端末数の増加時に対応

●渉外活動の拡大
過去の実績と今後の予定をまとめて売上予測として
出力。攻めの渉外活動を支援

●巡回健診機能による業績拡大
巡回健診受診者の健診データ取込も可能

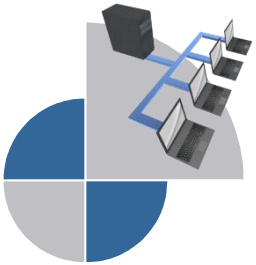
柔軟な拡張性

●他システムとの連携実績
他システム（電子カルテ、各種モダリティ等）との
豊富な連携実績

●判定基準の追加
人間ドック学会標準の判定基準以外に、独自の判定
基準を追加可能

●豊富なサンプル帳票
バリエーションに富んだサンプル帳票を準備
引用、改訂による拡張性に対応

●受診者数10万人の施設への導入実績
本システムで10万人の大量の受診者も管理可能



8 健診業務への貢献(2／2)

提案

作業の効率化

●印刷作業の軽減
複数サイズの帳票(問診票や報告書等)を、受診者単位でまとめて印刷

●OCRの読取精度アップ
OCRスキャナから読み込む問診票の読取精度を、95%に！

●通過管理/誘導支援
受診者の通過管理を行い、検査の誘導を支援。検査時間を短縮

●特定保健指導対応
特定保健指導をシステムで管理することで手間を軽減

利便性の向上

●Excelベースの帳票
軽微な修正や類似帳票は自由に作成可能。帳票修正にかかる手間と費用を軽減

●別端末からの健診結果入力・照会
院内の別端末から、場所を選ばず、健診結果の入力・照会

●画像システムのビューア起動
健診システム端末から、胸部X線などの画像をビューアで閲覧

●医事管理システムの受診者番号連携
医事管理システムの受診者番号を健診システムでも利用

（参考資料）株式会社SCCとeDCグループについて

株式会社SCCはeDCグループの中核を成すトータルソリューションカンパニーとして、「産学研協同」による成果を、システム開発やコンテンツ開発、そしてインターネットサービスを通してお客様に提供しています。

株式会社エスシーシー

商号	株式会社エスシーシー（通称：株式会社SCC） 英文名：Software Consultant Corporation
所在地	■本社 〒164-8505 東京都中野区中野5-62-1（eDCビル） TEL 03(3319)6611（大代表）FAX 03(3319)6999 ■本社別館 〒164-0001東京都中野区中野5-36-14 （eDC第2ビル）
代表者	代表取締役社長　松尾　泰
設立年月日	昭和５０年（１９７５年）１２月１５日
資本金	２億６,０００万円
売上高	１１８億円（平成２７年度）
従業員	８１７名（平成２８年４月１日現在）
事業内容	健診システムの販売、金融系を中心としたシステムインテグレーションの提供、情報セキュリティコンサルトを核に事業を展開しています。 ■医療パッケージ 「健診ヘルパーの販売」 ■ システムインテグレーション事業 企画からシステム開発までワンストップで提供 ■ 情報教育支援事業 ｅラーニング、ＩＴ関連書籍の出版 ■情報セキュリティコンサルタント事業 「プライバシーマーク取得コンサルティング」
国内拠点	■北海道支店 〒060－0003 札幌市中央区北３条西７丁目１－１（緑苑ビル）
	■名古屋支店 〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目15番14号（栄ハイホーム3階）
	■関西支店 〒553－0005 大阪市福島区野田5－17－22（大拓ビル）
	■九州支店 〒810－0003　福岡市中央区春吉1－11－18

eDCグループは、「システム開発・宇宙開発」と「情報教育」、そして「研究開発」という3つの領域を基盤とする「産学研協同」の複合グループです。

宇宙技術開発株式会社

日本の宇宙開発黎明期から、国家プロジェクトに参画し
宇宙開発を核に発展している技術者集団です。

eDCグループの宇宙関連事業を担う企業として、宇宙開発に関する様々な業務を展開しています。

宇宙技術開発株式会社
Space Engineering Development Co.,Ltd.
設　立：1983年7月23日
資本金：1億円、社員数：660名
本　社：東京都中野区中野5-62-1（eDCビル）
支　店：筑波/種子島/鳩山/鎌倉/勝浦/増田/沖縄/内之浦/北海道

北海道情報大学

経営と情報を学問として有機的に結びつけた「経営情報学部」をはじめ、マルチメディア時代に対応した「情報メディア学部」、インターネットを駆使した授業を展開する「通信教育部」、さらなる研究を極めるための「大学院」と魅力的な学部・学科を設置しています

■2006年　医療情報学科　開設
※500名を超える医療情報学科の卒業生が医療情報技術に携わっています。

北海道情報大学
Hokkaido Information University
設　立：1989年3月2日
所在地：北海道江別市西野幌59番2

電子開発学園

昭和43年以来、全国10校の専門学校を展開。これまでに6万5千人を超える卒業生がIT社会で活躍しています。

■2007年　医療情報コース 開設
（※北海道情報専門学校を除く）
■2008年　医療情報学科　開設
（※北海道情報専門学校を除く）

電子開発学園
Electronics Development Computer College
設　立　：1968年3月19日
基本金　：90億円
社員数　：260名

- ●北海道情報専門学校
- ●新潟情報専門学校
- ●名古屋情報メディア専門学校
- ●名古屋医療情報専門学校
- ●大阪情報専門学校
- ●広島情報専門学校
- ● KCS北九州専門学校
- ● KCS福岡情報専門学校
- ● KCS大分情報専門学校
- ● KCS鹿児島情報専門学校

株式会社北海道情報技術研究所

新たな視点で２１世紀の基盤技術を創造する
最先端のR&Dフィールドがここにあります。

HIITは、インターネット及びeラーニングシステムの高度利用に関する研究開発のための施設です。

北海道情報技術研究所
Hokkaido Institute of Information Technology
設　立：1990年3月2日
社員数：30名
所在地：北海道江別市西野幌45番地

SOFTWARE CONSULTANT CORPORATION